

発表会参加報告

2019年3月7日、裏磐梯ビジターセンターで開催された第14回学生研究発表会で、塘研究室の大友真夏さん(M1)と鈴木花苗さん(M1)がポスターによる研究発表を行いました。塘研究室の院生が裏磐梯ビジターセンターの学生研究発表会で発表するのは久しぶりです。以前はたくさんの口頭発表とポスター発表があり、プロジェクト研究所のメンバーの研究室の学生・院生が発表していましたが、今回、口頭発表は一件(立教大学と文教大学の3年生による発表:磐梯山噴火からの復興と現代への教訓)、ポスター発表は2件と、ずいぶん規模が小さくなりました。

最初に口頭発表があり、その後、ポスター発表をする二人がレクチャーホールの前にポスターを貼って、一人一人自分の研究をアピールする時間が与えられました。その後、大友さん(裏磐梯地域におけるヘビトンボ目幼虫の分布及びヘビトンボ目幼虫の側方突起の内部形態)はレクチャーホールの後ろに、鈴木さん(磐梯山を含む山岳域に分布するアザミウマ *Thrips* sp. (アザミウマ目:アザミウマ科)における山岳間の遺伝的分化)は前にポスターを掲示し、プレゼンテーションと聴衆との質疑応答を行いました。ポスター発表の時間は30分ほどでしたが、2つのポスターともかなり盛り上がっていました。二人とも多くの参加者からアドバイスやサジェスチョンを頂けたようです。参加者の皆さん、裏磐梯ビジターセンターのスタッフの皆さん、大変お世話になりました。ありがとうございました。

